

新町小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

学力向上 :「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
外国語教育:コミュニケーション能力や人と関わる力の育成に視点を当てた授業づくりの推進

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	校長
前田 彩子	遠藤 史比古 川本 沙知	林 哲史

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられたことに素直に取り組む。 ○まじめに課題に取り組む。 ●語彙が少ない。 ●読む・書く・話す経験が不足している。 ●聞いて考える力が十分に身についていない。	読む・書く・話す・聞く力を身につけ、自信を持って活動に取り組むことができる。	・聞き方、話し方のスキルを提示する。 ・めあてを明確にする。 ・授業で読む・書く・話す時間を十分にとる。	・教室の黒板上に、聞き方、話し方スキルを掲示し、系統的で継続した指導に役立てている。 ・学習のめあてを立てるだけでなく、振り返りの時間も確保できるようにする。		

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○友達や低学年の子どもに優しく、協力して取り組む。 ○あいさつができて、社交的。 ●自信がなく、自分の言葉で考えを伝えることが苦手。	課題に対して自ら考え、共に乗り越えていくことができる。	・スモールステップで取り組めるようにする。 ・少人数グループで伝え合う力を育成する。 ・相手意識を持って、考えたことや自分の意見を発表する場をつくる。 ・友達の意見に対する感想や意見をもち、発表して考えを深められるようにする。	・学級会などで話し合いの経験を積むことで、意見を伝え合うことに慣れてきている。 ・異学年交流で、発表の機会をもてるようにする。 ・話の要旨を聞き取り、いつもめあてに立ち返って話の本筋からそれないように意識させたい。		

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分のすべきことに、まじめに一生懸命取り組む。 ●失敗をするとやる気をなくし、決められたこと以上をやってみようとしなない。 ●学習のルールや基本的な生活習慣(時間を守るなど)ができていない。	基本的な生活習慣と学習態度を身につけ、自分で課題を見つけて挑戦する。	・学習準備を整え、チャイムと同時に学習を始めるように徹底する。 ・達成できる目標を積み重ねて自己有用感を高める。(ポイントなどで可視化する) ・学級の中で友達の良さを認め合い、高め合う学級づくりをする。 ・苦手なことにも友達と一緒に挑戦できる場を設定し、がんばった過程を褒める。	・新町メーターを活用し、「やる気いっぱい、せいいっぱい、笑顔いっぱい」ががんばる友達の良さを学校全体で共有できている。 ・朝会や放送で、新町メーターに書いた友達の良さを紹介したり、目標達成までのポイントを知らせたりして意欲を持って取り組めるようにする。 ・行事などの機会を通して心が伝わる挨拶や礼儀などについても指導し、学校みんなで一緒に頑張る雰囲気作りをす		

令和6年度 学力向上ロードマップ

